

目的：
外科医の勤務環境改善を目指し、現状把握のためのアンケート調査を実施した

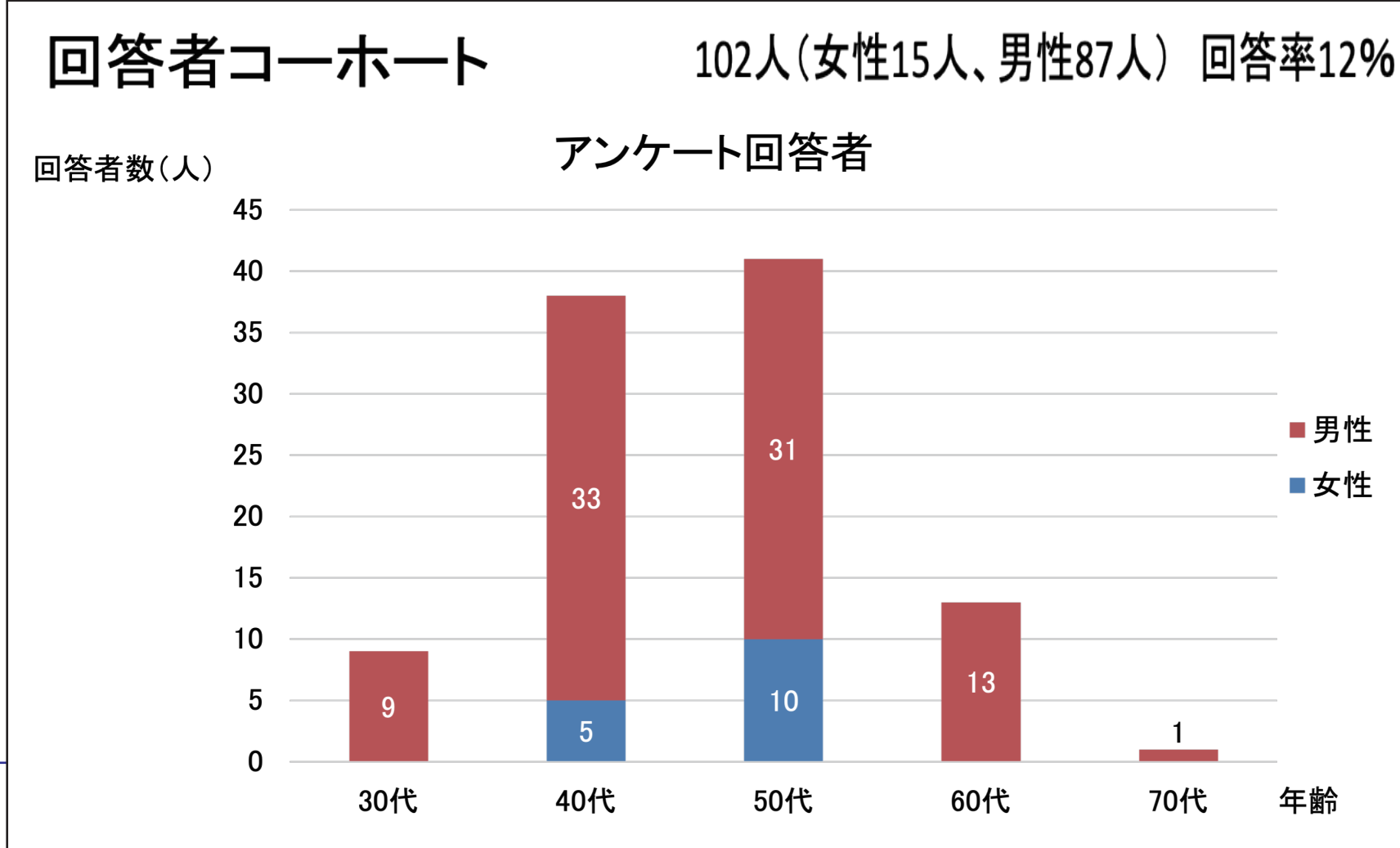
演題発表に際し、開示すべきCOIはありません
筆頭演者 横井暁子

対象と方法：

対象：京都大学外科交流センター会員
期間：2022年6月～2023年6月
方法：Google Form 多項選択式と一部自由記載
各項目に無回答可、(回答数にばらつきあり)

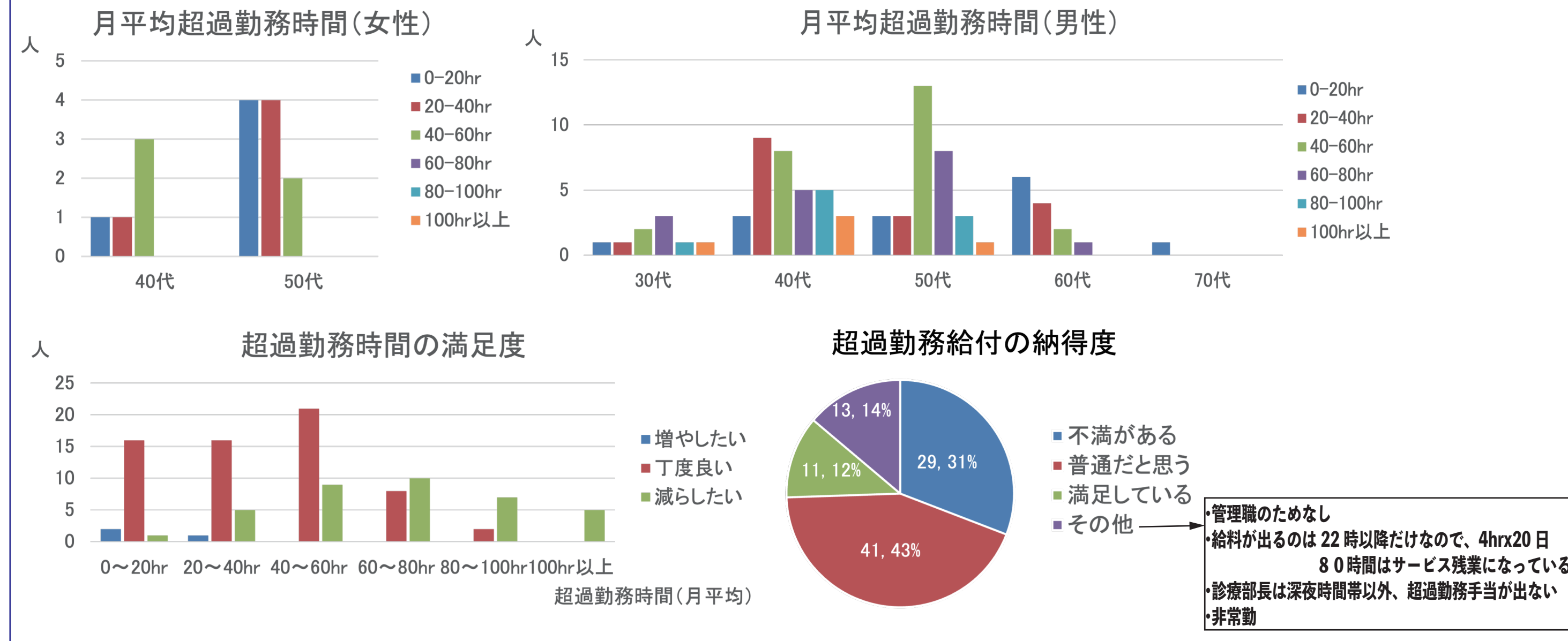
項目：

性別・年代
超過勤務・オンコール・当直
手術件数・満足度
診療体制・会議・その他業務
休暇取得
人間関係
院内環境

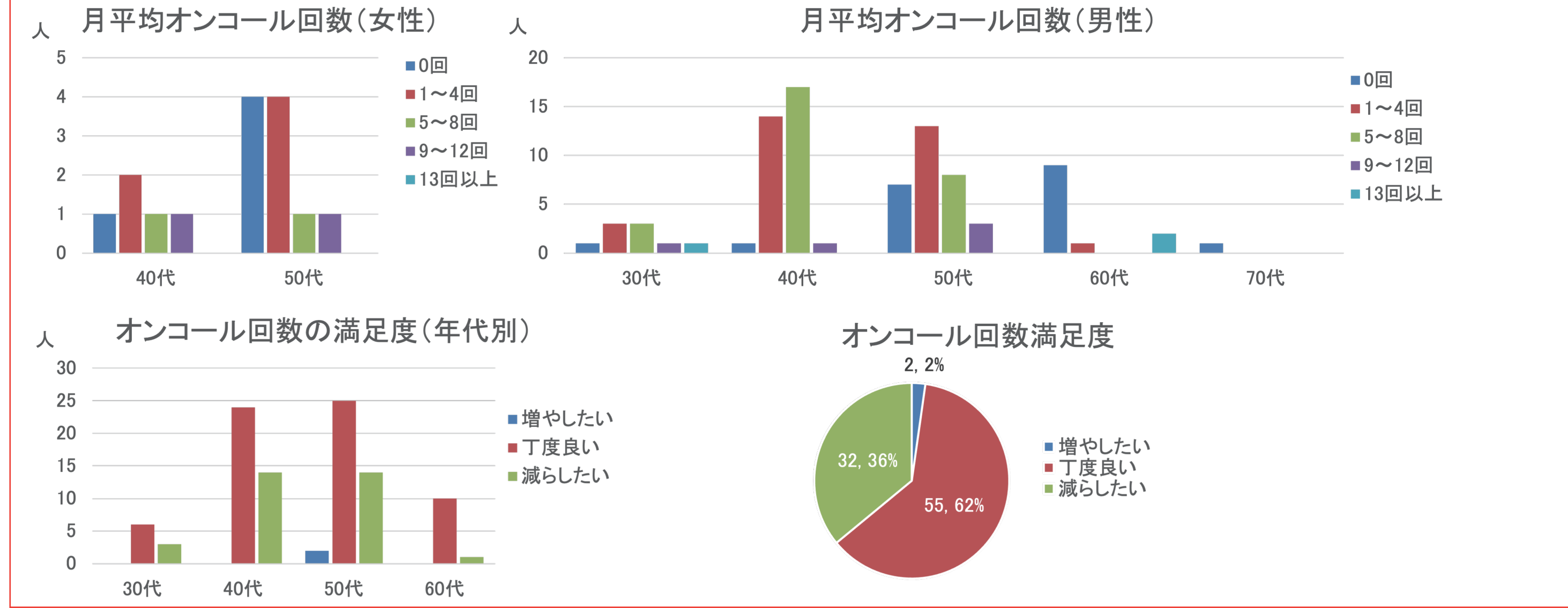


結果

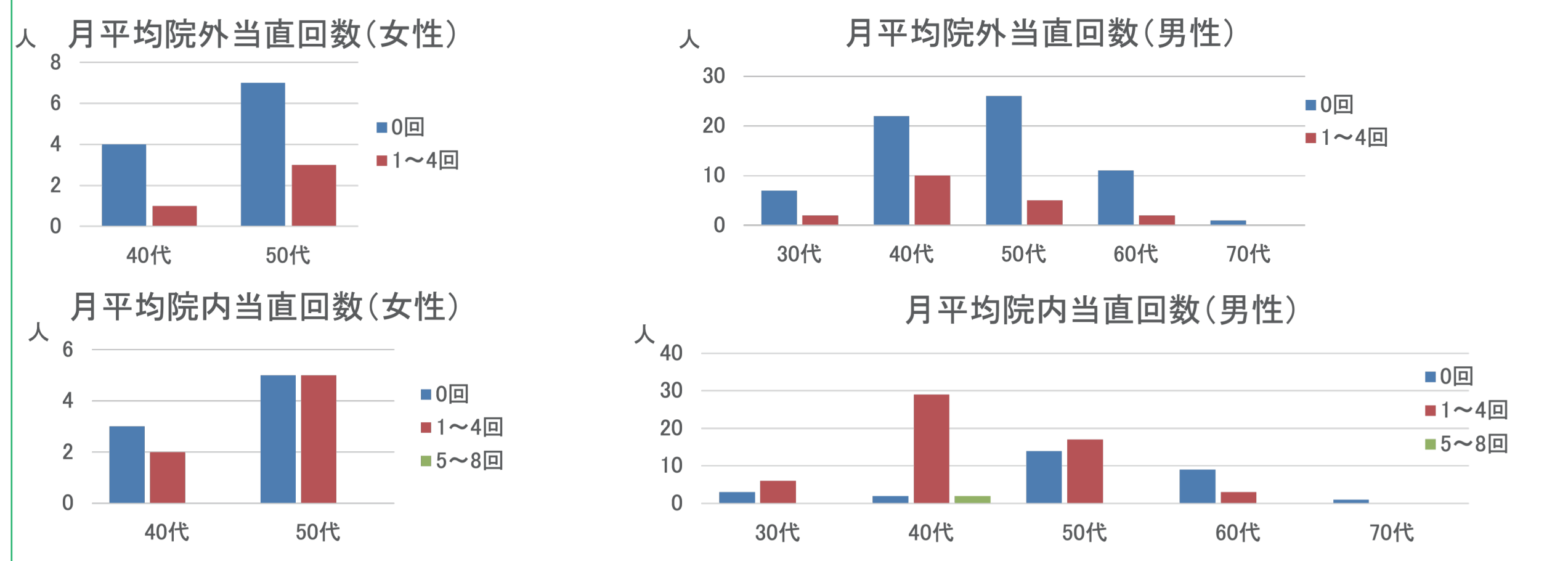
超過勤務時間



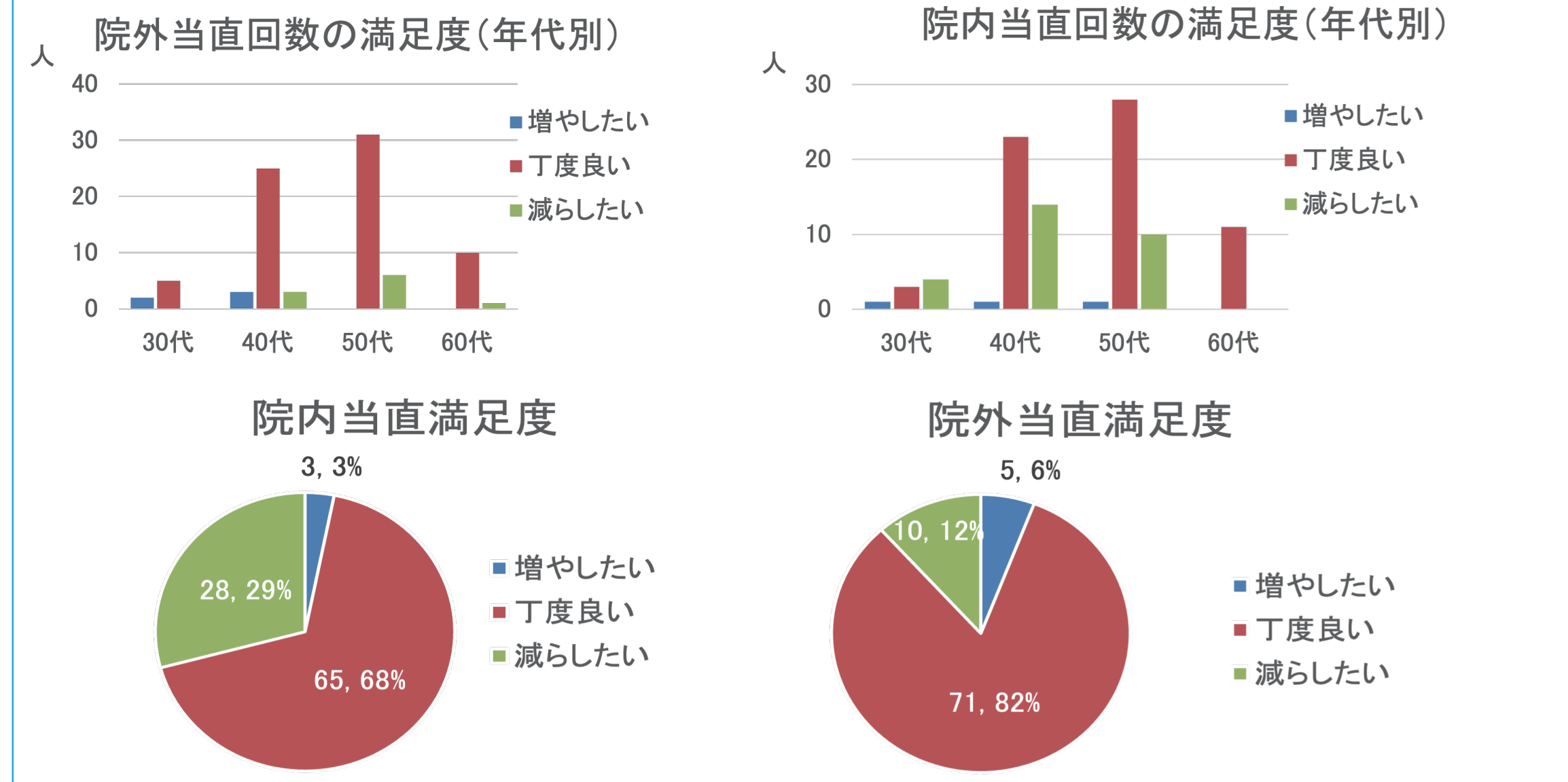
オンコールについて



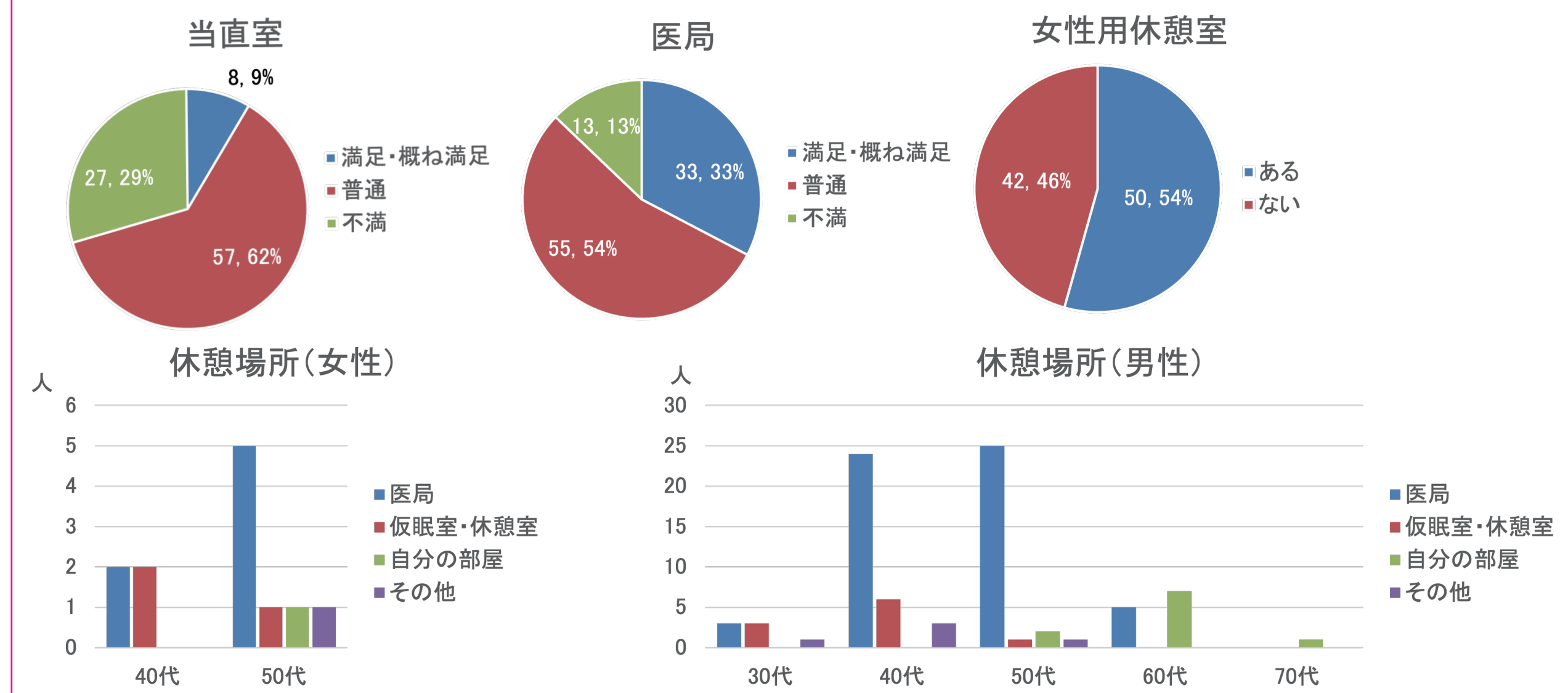
当直回数について



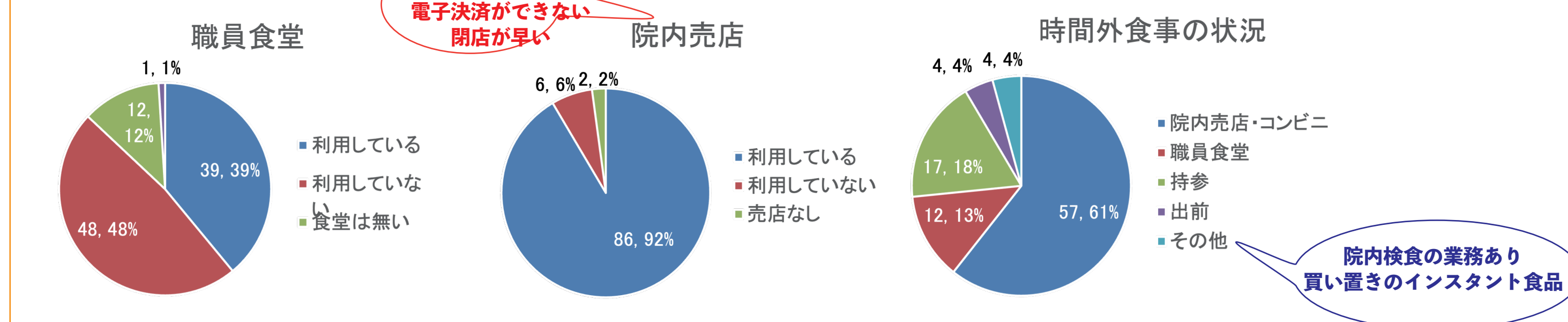
当直満足度



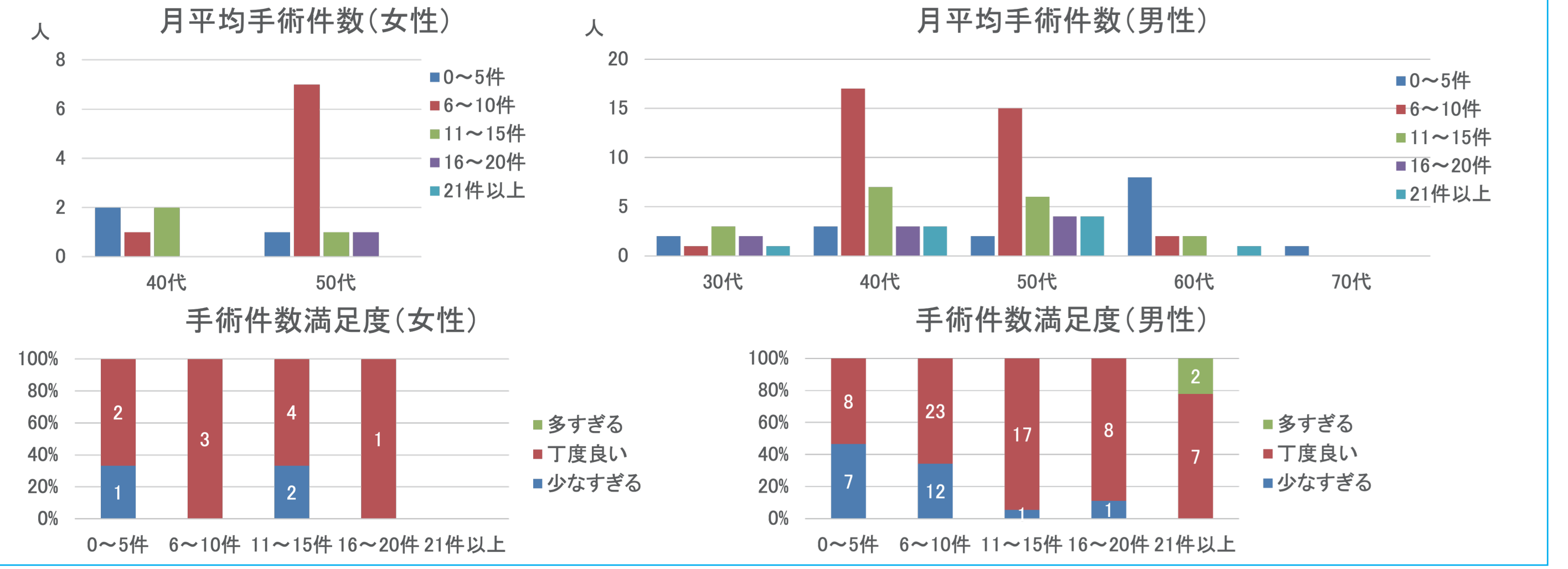
院内環境(医局・休憩室)



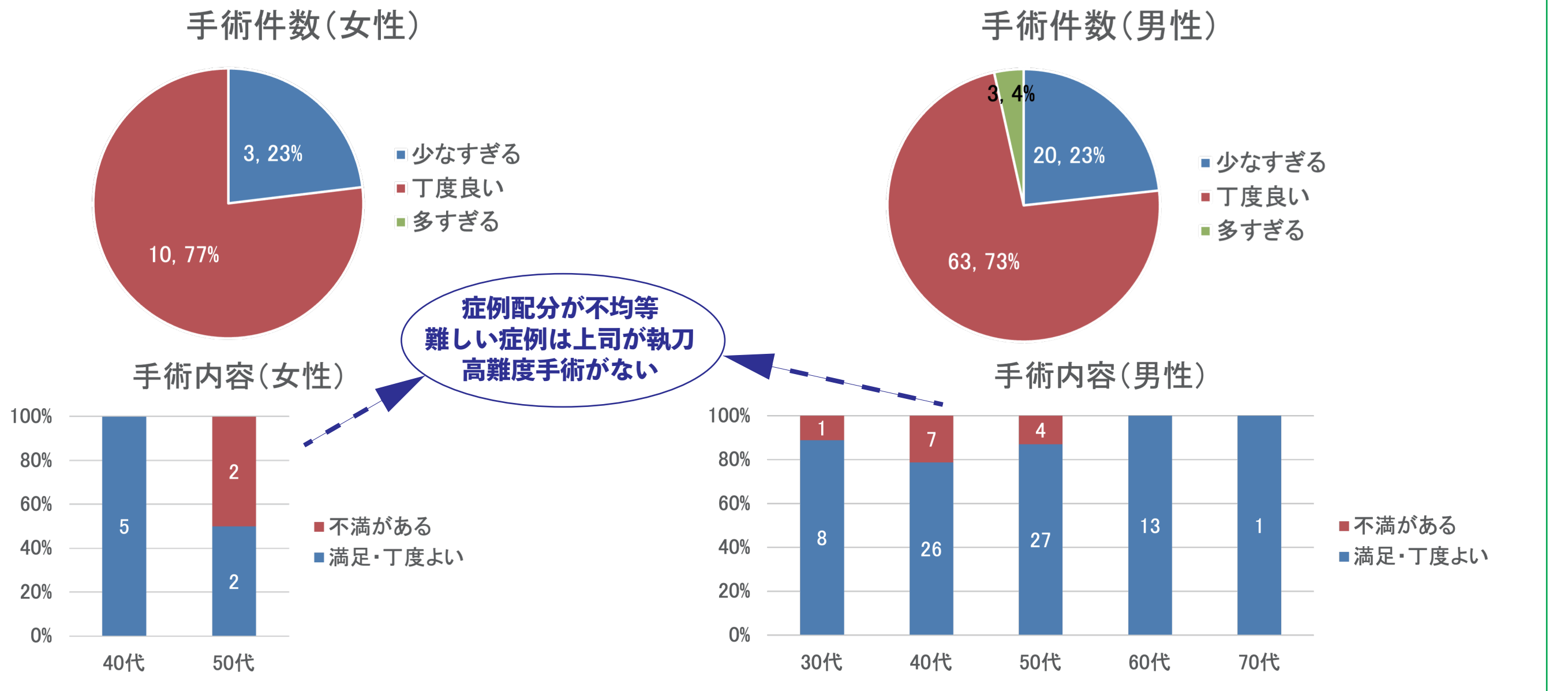
院内環境(食事)



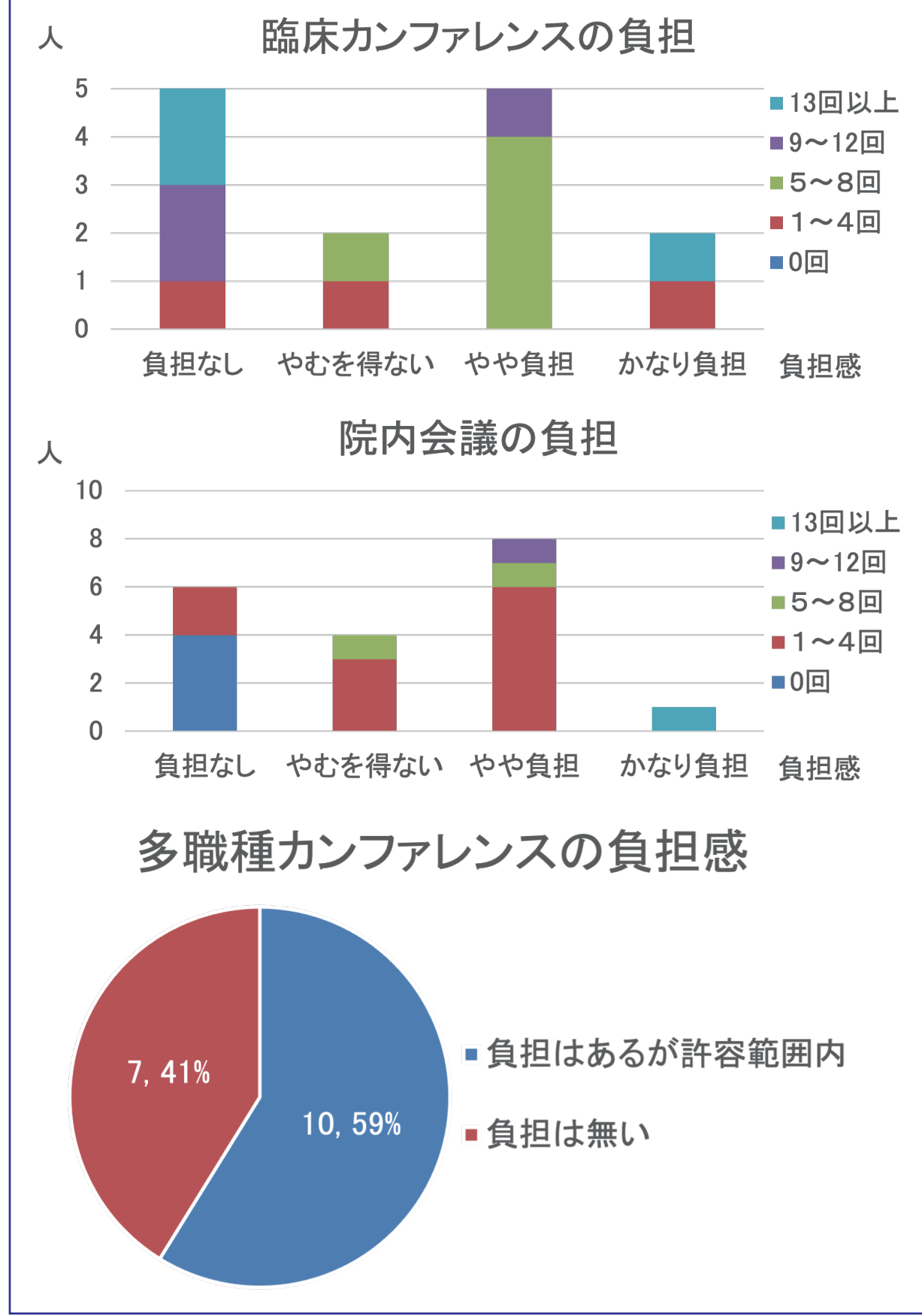
手術件数について



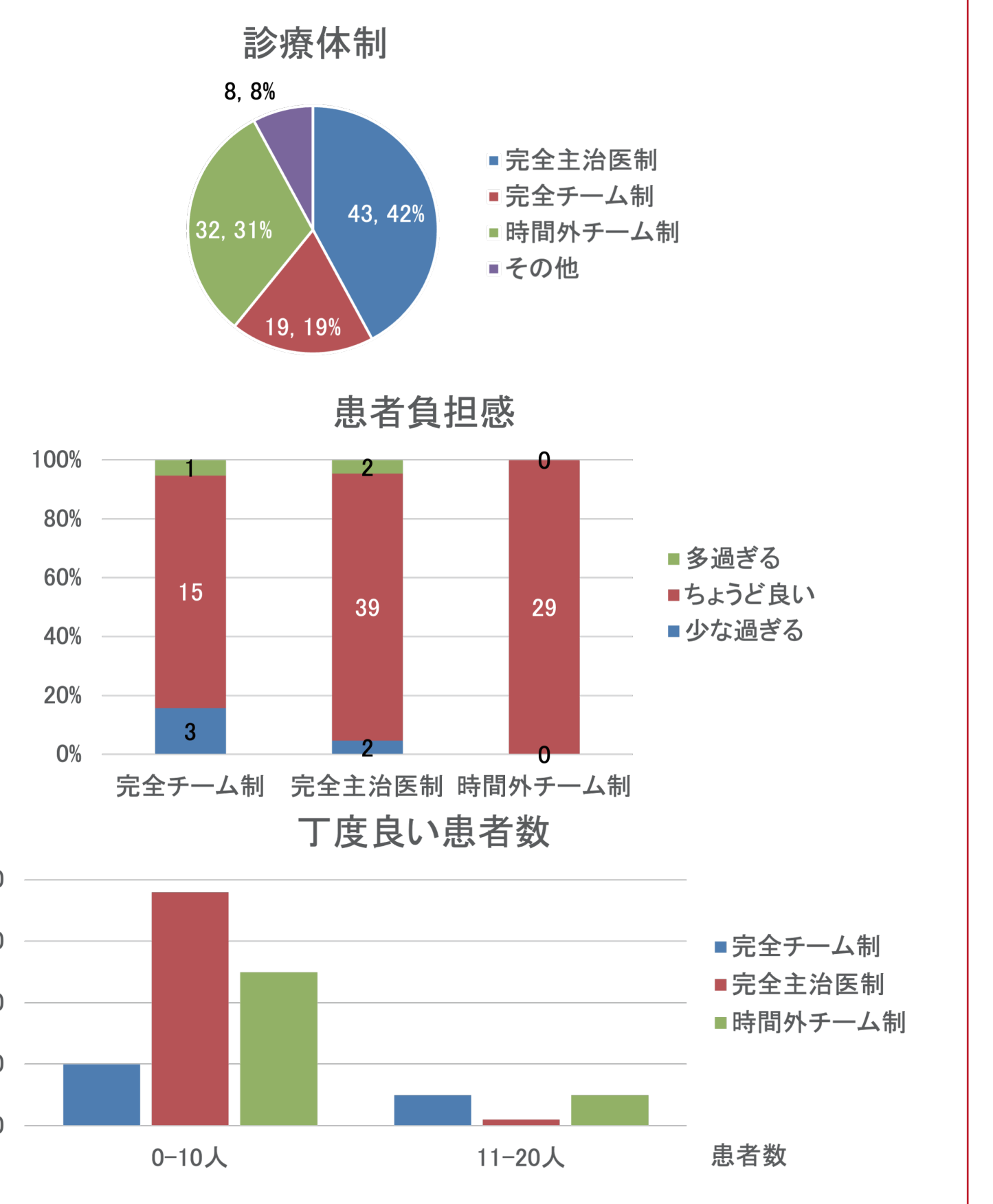
手術満足度



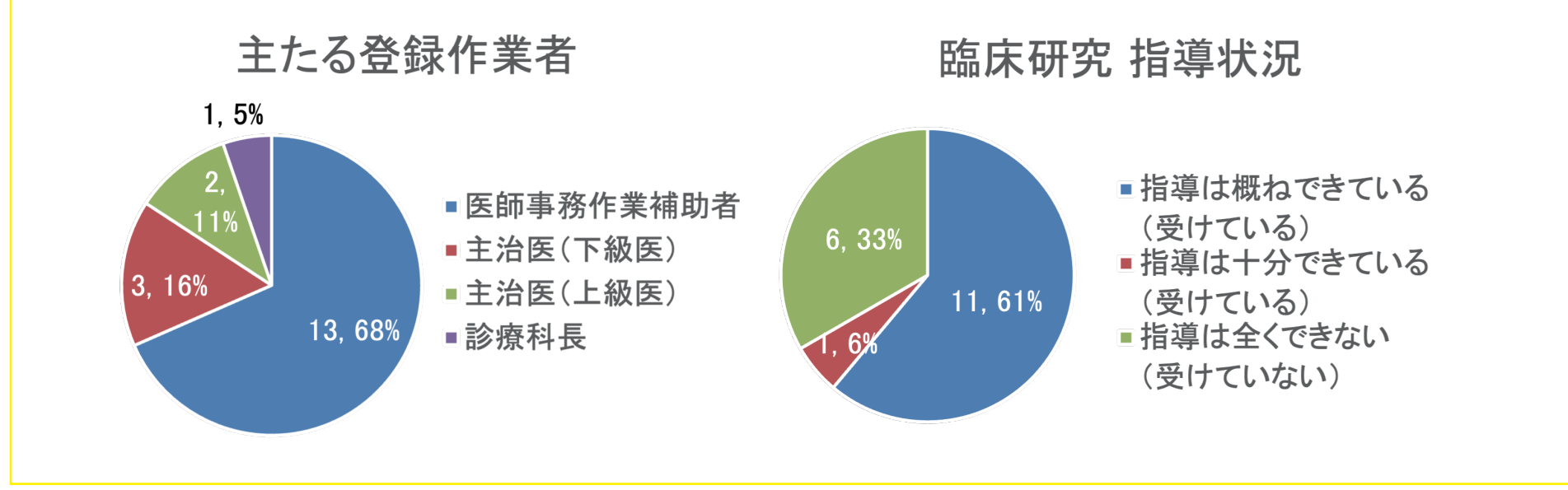
カンファレンス・会議について(月回数)



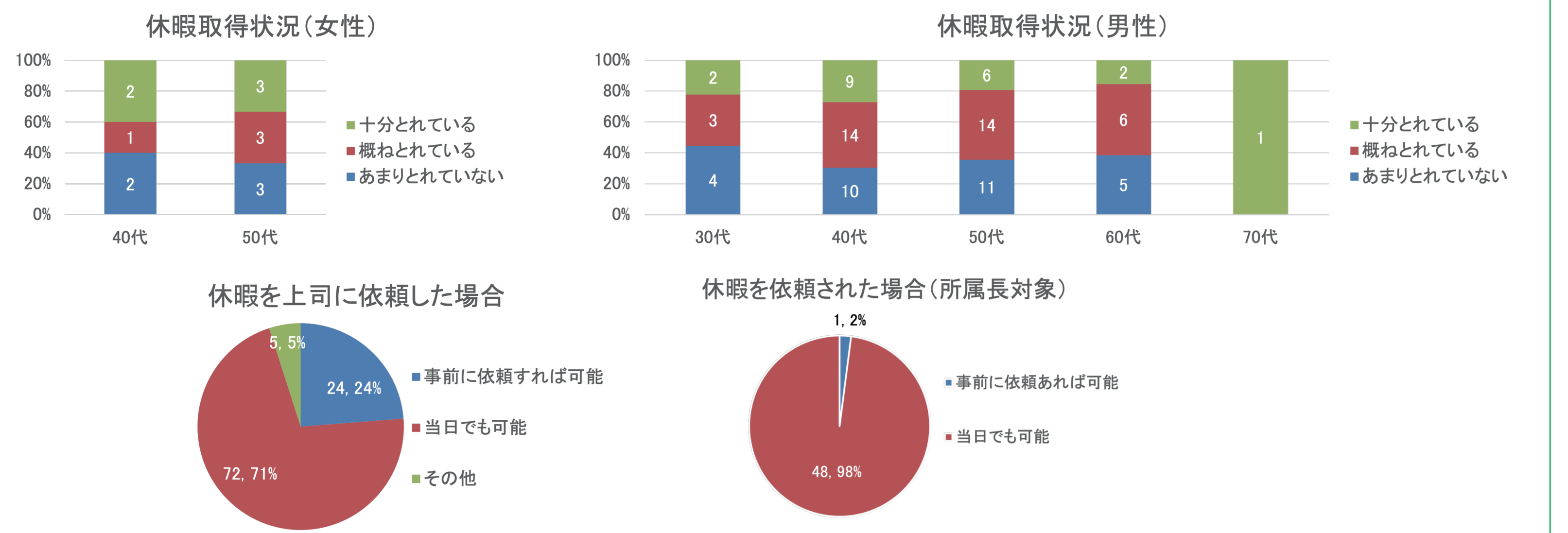
診療体制について



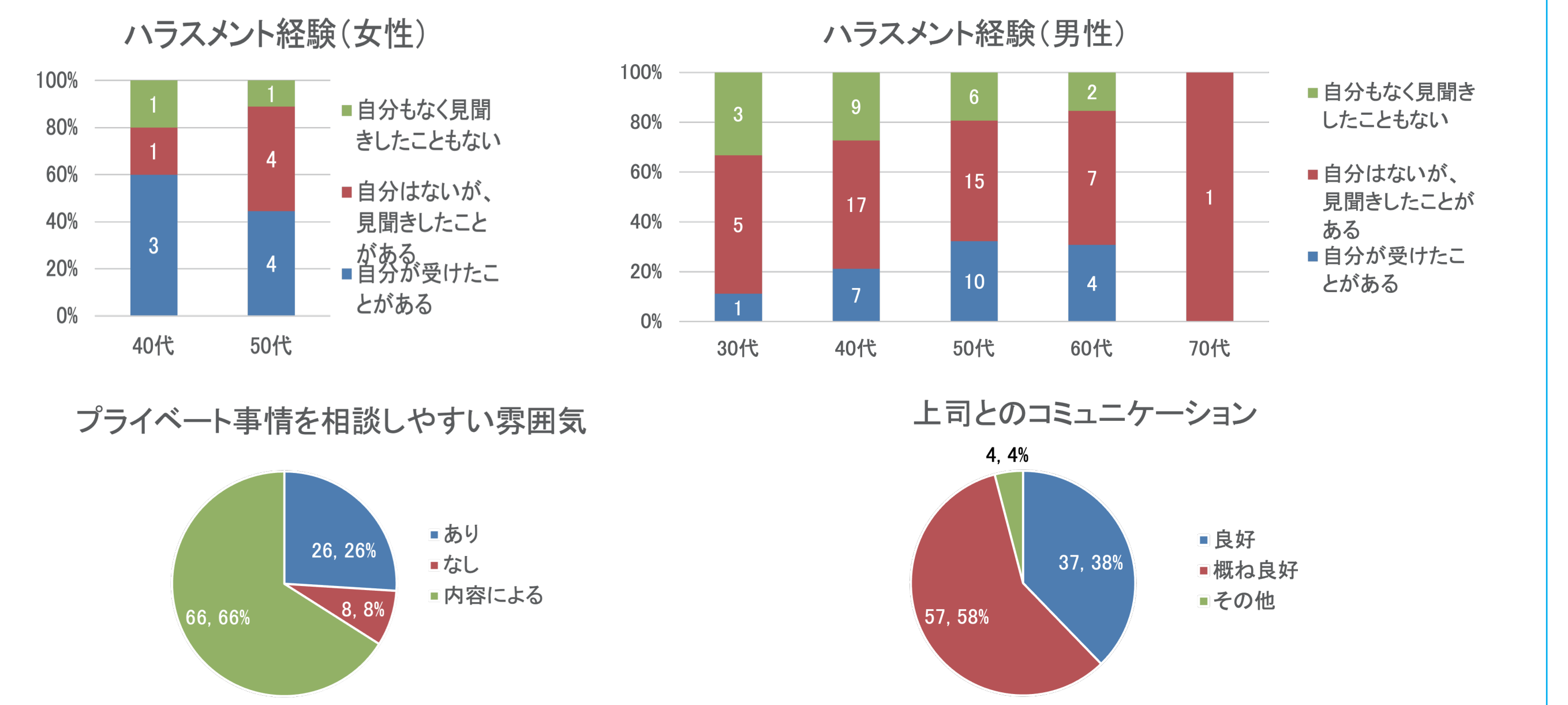
その他業務について



休暇取得状況について



人間関係について



まとめ
適切な超過勤務給付、個々のニーズに応じた手術経験の提供、時間外チーム制の導入、多職種間連携の強化、良好な人間関係の構築が、外科医の勤務環境改善に寄与する可能性が示唆された。